

## (特非) EnVision環境保全事務所

地理空間情報を使った、地域版SDGs達成に向けた生態系サービス評価のシナリオづくりと普及啓発—Evidenceに基づいた計画、評価、モニタリングの主流化のために—

ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発

講習会参加者 8人

シナリオ案 (データの組み合わせ) 3個

今年度計画の達成度 80%

目標達成度 26%



### 課題

生物多様性や生態系サービスの保全のための、「意識決定が地域単位で行われるための資源」、「データや情報を利用するためのツール」、「人材」が不足していること。

### 目標

生物多様性や生態系サービスの保全のための「人材育成とネットワーク形成」、「データや情報を利用するためのツール」、「情報資源」が充実すること。

### 活動内容と成果

今年度は、ワークショップ・講習会実施、操作マニュアル作成、ウェブサイト作成、ヒアリングを行った。ワークショップは活動戦略や講習会内容を議論のため、多分野の専門家と交えて実施した。生物多様性保全、自治体の仕組みについて、SDGsの考えを取り入れるための必要事項といった様々な視点から、シナリオが実際に活用される方法を議論した。2年目以降の活動を考慮し実施したヒアリングでは、北海道各地で活動する組織と情報交換を行い、組織内のGISのニーズや他団体の活用状況などについて情報収集した。



### 苦勞した点と工夫した点

#### ■ 苦勞した点

普段GIS(地理情報システム)を使用しない方でも扱うことができ、また実際に目標設定に活用されることを考慮したシナリオの作成に苦勞した。

#### ■ 工夫した点

GISというツールに特化せず、普段の活動や業務の内容の延長線上で考えることができることに重点を置いたシナリオを考えた。

活動地域 | 北海道

〒060-0809  
北海道札幌市北区北9条西4丁目5-2  
電話：011-726-3072  
E-mail：kudo@env.gr.jp  
<http://www.env.gr.jp/>



今後の  
展望

ヒアリング結果をいかに活動範囲を北海道内に広げる。活動を定着させるため、現地の活動団体との打ち合わせを密に行い、関係を築いていく。併せて操作マニュアルやウェブサイトを汎用性も視野に入れて改善・更新する。